

# The Illustrated London News Historical Archive 1842-2003

～イラストレイテッド・ロンドン・ニュースを通して旅行の変遷を辿る～

本データベースは、世界初の絵入り週刊新聞、The Illustrated London News (ILN) を、1842年の創刊号から2003年の最終号まで全ページを、カラーページも忠実に電子化したデータベースです。

初期ヴィクトリア朝時代から160年の長きにわたり、イギリスを中心に、世界中の文化、政治、社会の問題を、印象的な図版と共に伝え、人々のニュースに対するイメージに絶大な影響力を誇った同紙は、歴史が動いた瞬間を図版入りでリアルタイムに報道し、数々の歴史的な出来事の貴重な記録をのこしました。

## “travelling for the Millions” 「万人のための旅行」の時代

18世紀の旅行は、ローマやヴェニスを目指したグランド・ツアーをはじめとし、上流階級が独占していました。19世紀になると、世界で最も有名な旅行代理店の創設者トマス・クックが掲げた通り、「万人のための旅行」として、広く大衆が楽しめるものとなりました。イギリスではナポレオン戦争終結後、ヨーロッパ旅行への関心が高まり、1836年にはジョン・マレーによる初の旅行ガイド、Hand-Book for Travellers シリーズが刊行されました。ILNが創刊された1842年には、ドイツの旅行ガイド出版社、ベデカーからドイツとオーストリアのガイドブックが刊行され、さらに大衆の旅行熱は高まりました。ヴィクトリア朝中期は、技術発展と工業化がもたらした繁栄の時期であり、これらは旅行産業の成長にも貢献しました。日帰り旅行の誕生から、トマス・クックのツアー、キュナードの大西洋横断客船、ホワイト・スター・ライン社の創立、エドワード朝の豪華客船など、ILNの記事や広告には時代毎の旅行の諸相が記録されています。



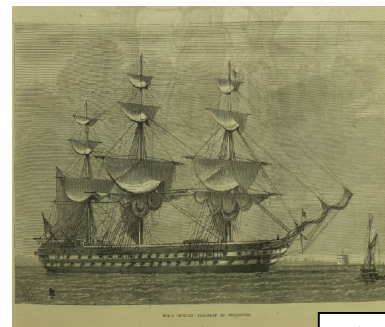
### デンマークへの短期旅行

“Summer Travel.—A Short Tour in Denmark.” 4 Sept. 1858: 213+.



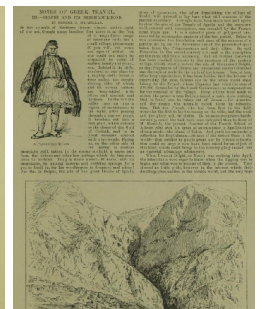
### 南アフリカ旅行

“South African Travel.” 16 Oct. 1869: 390+.



### 地理学と旅行

“Geography and Travel.” 7 Mar. 1874: 234+.



### ギリシア旅行ノート

Macmillan, George A. “Notes of Greek Travel.” 27 June 1891+.

 **紀伊國屋書店** 書籍・データベース営業部

〒153-8504 東京都目黒区下目黒3丁目7番10号

電話 03-6910-0518 FAX 03-6420-1359 e-mail:online@kinokuniya.co.jp

記念号、季刊号、ガイド、補遺版等、ILN では様々な特集号が刊行されましたが、豊富な情報を掲載したこれらの資料は、ヴィクトリア朝期の出版物の中では、あまりとりあげられることはありませんでした。多くの場合、補遺版の最初のページには大判の図版が掲載され、補遺版の特徴ともなっていました。

旅行は、補遺版でよく特集されたテーマの1つです。特定地域の特集、旅行関係の書籍の書評などが掲載されました。



**左:オリエント旅行**

ロンドン万博終了直後の1851年11月29日付の補遺版。万博により外国文化への関心が高まっていたことを反映し、旅行特集が組まれました。これは、マレーやベデカー等、当時人気を集めていた旅行ガイドのスタイルをまねた文章で書かれました。

H., J. "On Oriental Travellers." 29 Nov. 1851: n.p.

**中左:旅行関連書籍特集**

"Books of Travel."  
2 May 1914: n.p.

**中右:H.M.スタンリーのアフリカ探検スケッチ**

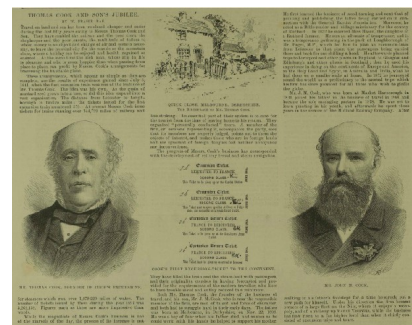
"Sketches and Description by Mr. H. M. Stanley, and a Detailed Account of African Travel, by George Augustus Sala." 6 Feb. 1878: n.p.

**右:アメリカ旅行**

"Travel in the United States." 29 Apr. 1939:

トマス・クック

トマス・クック（1808—1892）は旅行を特権階級以外の大衆にも手が届くものにしました。ILN の紙上で旅行市場のリーディング・エージェント、トマス・クック社のブランドとアイデンティティの変遷を辿ることができます。



**トマス・クック・アンド・サンズ社 50 周年特集**

「トマス・クック社は、経済的に余裕がなく、また休息が必要な職人、事務員、店員、牧師補、労働者が、狭苦しい都会を離れて海辺や山間で休暇を楽しみ、休養をとることを可能にした」

Rae, W. Fraser. "Thomas Cook and Son's Jubilee." 25 July 1891: 100.

- 1841年 禁酒運動の祈禱集会に向かう途中、列車を利用して団体で移動することを思いつく。その後、鉄道会社と交渉して列車をチャーター、500名参加の日帰り旅行を実現。禁酒運動や日曜学校に団体旅行を提供するように。
- 1845年 リバプールへの団体旅行がトマス・クックのビジネスとしての最初の企画であり、「万人のための旅行」のトマス・クックの始まり。この時に作成した旅行ハンドブックが、初の旅行カタログ。
- 1851年 ロンドン万国博覧会では15万人以上がトマス・クックのツアーで博覧会を観覧。1853年のダブリン万国博覧会、1855年のパリ万国博覧会へのツアーも実施。



**禁酒運動の為の団体旅行**

"Temperance Grand Excursion."  
7 Aug. 1852: 101.



キュナード社と提携した「太平洋クルーズ」の広告。旅行業界内の競争が熾烈な時代に、企業間の提携によりサービス向上と生き残りをかけました。(31 Dec. 1977: 120.)